

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	スポーツひろばプレイス八王子教室		
○保護者評価実施期間	2025年11月15日		2025年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2025年11月15日		2025年12月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が行えている。	社内での専門的な研修をはじめ、こども1人ひとりに対しての指導方法の研修や模擬授業を行うことで、他ではない成功体験や自信を身に付けることができている。	模擬授業だけではなく、授業を録画したものでの分析や公開授業なども積極的に参加し、学校などでの様子も直接みてより実際の困り感に寄り添って療育を行っている。
2	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されている。	日頃からの活動後のフィードバックを専門的な視点で分析し対応策を検討している。検討した内容を含めて保護者や本人からの要望を踏まえて長期的な目標や短期的な目標をたてるようにしている。	本人に来る目的や、できるようになりたいという意欲的な気持ちを持てるように日ごろの活動ができる様にしている。
3	事業所の支援に満足している。	利用開始前の面談で事業所の内容と保護者の要望に相違がないようにしている。 また日頃から保護者や本人のニーズに合っているか、保護者からの相談や子どもからの困り感に寄り添い即座に対応をするようにしている。	プログラムをもとに個別に1人ひとりに良い療育ができるよう、私生活にも生きるように療育の成果を実感してもらえるようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的に面談や子育てに関する助言等の支援が行われているか。	多くの保護者より感謝の言葉と共に、助言等の支援をされるとの解答があったが、一部の保護者よりもっと時間が欲しい等の要望や、なかなか面談に行くことができない。などのご意見も出ている。	面談だけではなく、LINEや電話などでのやり取りを広めていき質問を多くしてくださる保護者だけではなく、こちらからのお声掛けを増やしていく。
2	個別支援計画を示しながら支援内容の説明がされているか。	個別支援計画の配布方法によっては説明ができていないことがあった。また直接会うことが難しい保護者やLINEでやり取りはしているが、一部の保護者にはお仕事などの関係で対面や電話での説明が難しい場合がある。	配布方法を検討し、個別に毎回説明ができるように見直しをした。色説合うことが難しい保護者とはLINEや電話などを利用して要望に相違がないか配布後の確認を行っている。
3			